



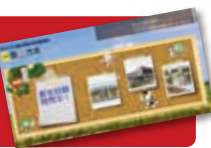
謹賀新年
迎春
あさひかわ



特集
新春を迎えて
TACパワーアップ大会
理事会だより



あさがおの情報を発信しています。どうぞご覧ください。
農産物直売所あさがおのブログ
「あさがおだより」
<http://www.ja-asahikawa.or.jp/asagodayori/>



平成31年4月30日(火)まで

JA教育ローン 次世代応援キャンペーン

固定金利型 5年以内	年 1.50%	保証料別途 農信基型 年 0.40% 民保型 年 1.00%
5年超 10年以内	年 1.70%	
10年超	年 2.00%	
変動金利型	年 1.50%	

平成30年12月10日現在
長期プライムレート 1.00%

基準金利より、下記の組み合わせで
最大 年**0.50%**引き下げ!!

①JAカード
②カードローン
③給与振込・年金振込
④公共料金1項目
⑤JAローン
⑥購買もしくは販売取引

上記取引のうち、
一つご利用につき
年**0.10%**引き下げ
(最大年 0.30%)

当組合の住宅ローン
ご利用者は
年**0.20%**
引き下げ

18歳未満のお子様が
3人以上の方は
年**0.20%**
引き下げ

当JAホームページでも
事前審査は可能です!!
(仮審査承諾後は店頭にて正式な
お手続きが必要となります)

※ローン商品の詳しい内容につきましては
店頭に説明書をご用意しております。
※店頭にて返済額の試算を承っております。
※ローンご利用中に繰上返済を行う場合や
返済条件を変更する場合には、
別途JA所定の手数料が必要となります

借入金額50万円以上の方には
新米をプレゼント

あさひかわ農業協同組合 ローンセンター

住所：旭川市豊岡4条1丁目1番18号
電話：0166-86-6100

土曜・日曜も営業しております(定休日：水曜・祝日)
営業時間 平日9:00～17:00 土曜・日曜10:00～15:00
土曜・日曜の営業時間に変更になりました

旭川中央支所	TEL.26-3511	北部支所	TEL.51-4336
神奈支所	TEL.61-4111	近文支所	TEL.53-1126
厚生南支所	TEL.32-9011	永山支所	TEL.48-2171
旭正支所	TEL.32-2231	豊岡支所	TEL.31-3188
神居支所	TEL.61-4126	忠和支所	TEL.62-2185
江丹別支所	TEL.73-2111	北野支所	TEL.87-2131
豊光台支所	TEL.52-7857		

新春を迎えて

代表理事組合長

島山 守穂



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は農協運営並びに事業推進に対しご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の北海道を振り返ると春先は気温も高く農作物の生育は平年並みで推移したものの、7月の豪雨並びに台風21号は農畜産物及び農業施設等へ甚大な被害をもたらしたほか、9月6日に発生した胆振東部地震では道内全域が停電となる「ブラックアウト」や断水により、農家組合員の営農や農畜産物の出荷・輸送・保管・製造体制に多くの支障が生じました。

国内に目を向けてみますと、人口減少や高齢化の急速な進行に伴う労働力不足、さらに地域コミュニティ機能の低下に加え、TPP11・日EU・EPA等の国際貿易交渉の急激な進展や、日米間で新たに交渉開始が合意された日米物品貿易協定（TAG）の議論の行方による将来不安など、農業を取り巻く情勢は大きな変革期を迎えております。

昨年11月に第29回J A北海道大会が開催され、「農業所得の増大、多

平成31年の 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

飛田 稔章



組合員並びにJ A役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJ Aグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、J Aグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度も概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

様な担い手の確保・育成」、新たな協同組合の価値創造やサポーター550万人づくりを始めとする「次代につなげる協同組合の価値と実践」にJ Aグループ北海道が一丸となって取り組んでいくことを決議しました。しかし、J Aを取り巻く環境は極めて厳しく、政府の定める「農協改革集中推進期間」の期限が本年5月、信用事業を含めた今後のJ A事業運営のあり方に係る検討期限が本年4月、会計監査人監査への移行期限が本年9月、准組合員利用規制に係る政府の調査期限が平成33年3月となっており、農協改革議論の大きな節目を迎えることから、これらに適時対応していかなければならないものと考えております。

また、「総合農協として単独で経営していくのか」「合併して経営基盤を強化していくのか」「信用事業を譲渡して信連の代理店になるのか」、持続可能な事業運営のあり方における3つの選択肢から1つを選択・決定して、本年5月までにJ Aバンクへ報告することも求められています。平成32年度から信連奨励金が減少していくなか、あさひかわ農協が総合農協として事業を継続していくために、機構改革による人員の再配置、金融店舗・施設の統合、事業管理費の節減など経営改善対策を速やかに実施してまいりますので、皆様の深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員皆様方にとって実りある豊穰の1年となり素晴らしい年になりますことをご祈念いたしまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」（TAG）の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めています。

さて、昨年11月には、第29回J A北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、J Aグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、J Aグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態」で始動を待つ準備期間の意味があるとのことでもあります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穰の1年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

第29回 JA北海道大会

北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



第29回 JA北海道大会が開催される

11月13日(火)、JAグループ北海道は第29回北海道大会を開催した。当JAからも役職員、青年部、女性部役員含め39名が参加した。

本大会では、第28回大会で決議した「北海道550万人と共に創る【力強い農業】」と「豊かな魅力ある農村」の実現を継承し、新たに重要性を増す「協同組合の価値と実現」を決議した。そのうえで、グループ全体で取り組むべき重要課題や重点取組事項を示すこと、グループ内で課題認識を共有し、目指すべき方向性に対する意識・目線を合わせることを目的とする大会となった。

当JAも自らの役割を再確認し、役職員一丸となり北海道大会決議事項の実践を通じた自己改革に取り組んで参ります。



大会決議事項1 協同の力で「農業所得の増大」と「多様な担い手の確保・育成」を実現

基本目標1 農業所得の増大に向けた取り組みの加速

基本目標2 担い手を育み支える地域活動の実践

大会決議事項2 次代につなげる協同組合の価値と実践

基本目標1 時代に即した協同組合の価値創造

基本目標2 食と農でつながるサポーター550万人づくりの拡充

新年挨拶

青年部部长

荒川 十



皆様、新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては日頃より、青年部活動に對しまして格別のご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。また、部員の皆様方におかれましては日頃より青年部活動へのご参加、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

去年を振り返りますと、融雪が例年より早く春作業は順調に進みましたが、6月上旬の低温、7月上旬の豪雨による被害で作物の生育、管理作業には頭を悩ませたことと思います。

そして北海道胆振東部地震によるブラックアウトが発生し、多くの方が被災されました。

被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

私達青年部の活動も支部を統合して3年が経過しましたが、支部の垣根があると感じています。

青年部活動では6月に田植え体験、田植え作業後の親睦会、7月には農協職員とのスポーツ交流会、9月には稲刈り体験、11月には研修会を行いました。

多くの部員と職員の方々に参加いただきありがとうございました。今後の青年部活動として1つでも活動を増やしていきたい、継続をすることが横のつながりを強くし、支部の垣根を取り除くと思っています。

今、青年部部員は年々減少傾向にあり、運営も厳しくなっていますが、青年部一丸となり頑張りましょう。

最後になりますが関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。今年1年皆様のご健康とご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

女性部部长

上島 美由紀



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様、部員の皆様には日頃より女性部活動に對しまして、御理解、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。また組合長をはじめ役職員の皆様、事務局に支えられていることに對しまして深く感謝申し上げます。

昨年は、自然の中で私たちの予想を遙かに超えた気象災害が次々と起こり、一年の苦勞が稔りの少ない年でもありました。

9月6日の厚真町が震源となった地震は災害がより身近に感じられる出来事でした。

被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

昨年、女性理事が2名誕生し、女性部代表として男性理事とともに農協発展のためご尽力をいただいております。

女性部全体研修では、自ら学ぶことと笑いの大切さを再認識しました。

また、部員加入推進をお子様同伴で8月と12月に行い、21名に参加をいただき女性部との交流を深めることができました。

「仲間をつくる」ことはお互いを「成長させる」と信じ、新しい部員さんが一人でも増えることを願うばかりです。女性ならではの発想とアイデアで徐々に変わりつつある女性部は、厳しい状況の中ではありますが楽しみでもあります。

本年も皆々様に女性活動への参加、御協力をお願いするとともに、皆様方のご健康と豊穡の秋となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第4回JAあさひかわ女性セミナー開催！

12月5日(水)会員以外も参加できる公開講座とし、参加者24名で女性セミナーが開催された。

今回は「陶芸体験」で東川町在住の滝本先生ご夫妻を講師にお招きし、白い大皿を作った。先生のお手本を真剣に見聞きし、できあがると大きな歓声があがった。

黒褐色の粘土が白になることを想像しながら3色の粘土(青、ピンク、茶色)で模様をつける作業では約1時間苦心して取り組んだ。



完成までは1ヶ月程度かかるので、楽しみは年越しとなる。

昼食は各自用意であったが、料理上手な会員からパスタ、おこわ、赤飯、デザート、女性部定番の漬け物などの提供があり、バイキングのようで、参加者は皆、目移りしていた。

支所の垣根を越えた交流ができ、次回開催の告知をし、参加の呼びかけを行い終了した。



JAあさひかわ女性部加入推進交流会開催

12月1日(土)、永山基幹支所2階会議室にて新規部員獲得のため加入推進活動として「リース作り体験」と昼食交流会を行った。親子で参加していただくために土曜日の開催としたところ交流会参加者10名、こども16名の参加があり、女性部からは11名が出席した。「リース作り」では市内の花屋さんを講師に迎え、リースの土台に「ヒバ」の葉を巻き付け、数種の装飾品を参加者のセンスで取り付け完成！子供たちは飾りの場所を真剣に考えていたのが印象的だった。午後からは「牛乳パックで簡単押し寿司」を



作り女性部差し入れの漬け物やデザートを食べながらの交流となった。牛乳パックを再利用して手軽に作れる押し寿司は、参加者の方々に大好評であった！

今年度2回の推進交流会を開催しましたが、参加してもらうことで女性部のことを少しでも理解いただけたと感じました。

今後も引き続き本所、各支所において部員獲得と地域との交流を深めていく活動を続けてまいります。



T とことん A 会って C コミュニケーション

TACパワーアップ大会2018 JA賞・TAC表彰ダブル受賞

JA賞・TAC表彰ダブル受賞

11月15日(木)～16日(金)に地域農業の担い手に出向くTACの全国大会「TACパワーアップ大会2018」が横浜市内で開催された。今大会で当JAがJA表彰(提案者営農企画部米穀農産課 岩崎調査役)、営農企画部米穀農産課村上主査がTAC表彰を受賞した。当JAのダブル受賞は2016年以来2度目となり、表彰式では古澤専務・村上主査がJA全農経営管理委員会会長 長澤 豊氏より表彰状を授与された。

JA表彰では、契約栽培により販売価格が安定的な酒造好適米の作付面積を拡大するとともに、他産地との差別化と販売力強化のため、ASIAGAP団体認証をTACが支援し地域のブランド化に大きく寄与した点、また価格の乱

高下が激しい黒大豆について、営農指導や小麦との混合調製などによる品質の安定化や複数年販売契約による価格の長期安定化を図るなど、「黒い恋人」ブランドの維持・強化対策により、担い手が安心して生産できる体制を確立したことも評価された。

TAC表彰では地域の基幹作物であるソバと草地が抱える品質・生産性の課題に対し地力低下の原因を究明し、効率的な輪作体系の確立や土壌診断による適正施肥を進めた点、更には江丹別そばブランドの維持向上を目指して、雪蔵熟成による新たな付加価値の創出など販売を強化し、これらの取り組みにより全国そば優良生産者表彰事業で江丹別蕎麦部会が最高賞を受賞し、PRにつなげたことなどが評価された。



ながやま農家の食卓を開催

10月31日(水)永山市民交流センターにて、『ながやま農家の食卓』が開催された。今年で5回目となるこの会は、地産地消の取り組みとともに、大切に育てられた野菜を余すところなく有効に使うって欲しいとの思いから行われている。当日は約90名のお客様に農家の母ちゃん自慢

の料理がバイキング形式で40品以上も振る舞われた。

来場者は女性部部員に料理の作り方を熱心に聞いたり、スライドショーを通し農家に関心を持ってもらったりと、一般消費者の方との良い交流の場となった。



JAあさひかわ米が食べられる お店紹介 第②回



ごまそば鶴喜 末広店



旭川市末広4条3丁目6-11
TEL 0166-51-0755



北の富士 櫻屋



旭川市1条通3丁目
TEL 0166-22-8264

Curry & Sweets アプランティ



旭川市東光8条4丁目シカザワプラザ1-22
TEL 0166-85-7116



ヤキトリツヨシ 秋月店



旭川市秋月2条1丁目5-2松本ビル1階
TEL 0166-48-4787



ヴィヴルアンサンブル

旭高砂牛や旭川産の食材を使用したカレーが食べられるお店です。



旭川市1条8丁目108番地 フィール旭川地下1階
TEL 0166-56-0745



旭川トーヨーホテル

レストラン「八島」では料理長が腕をふるい北の大地が育てた旬の食材を使用した味覚と味わいをお届けしています。



旭川市7条通7丁目32-12
TEL 0166-22-7575



とほろす

JAあさひかわの
気になるニュース

topics いつでもどこでも
くまなく情報満載。

JAあさひかわ青年部 見識を深める視察研修を開催

JAあさひかわ青年部道内視察研修会が11月6日(火)から7日(水)の二日にかけて行われ、今年は17名が参加した。

見識を深めることを目的として、視察先を変えながら例年開催されており、今年は石狩市の「ホクレンパールライス工場」と苫小牧の「苫小牧デポ」の二か所を視察した。初日の「ホクレンパールライス工場」では、精米や梱包、及び流通販売の工程や管理など、収穫後の米の処理や流通などの説明を受けた。

札幌で一泊し、二日目の「苫小牧デポ」では、最新鋭の農業機械について、性能、利便性、価格などの説明を受け、今後の営農の参考とした。



永山年金友の会 秋の温泉湯治

永山年金友の会(会長・佐藤佳明 会員117名)は、11月27日(火)から30日(金)まで3泊4日の日程で32名の参加により、層雲閣グランドホテルにて秋の温泉湯治を行った。

日頃の疲れを温泉で癒し、日中はビンゴゲームやカーリンコン等を行った。特に初日のカーリンコン大会は白熱した試合を繰り広げた。夜は宴会を行いカラオケや踊り等を披露し大いに盛り上がった。又、宴会の締めは永山年金友の会恒例になっている北海盆踊りを全員で踊り、皆一様に楽しい時間を過ごし有意義な温泉湯治となり無事帰路に着いた。



北野基幹支所年金友の会 秋の保養を開催

北野基幹支所年金友の会(会長 山崎 親友、会員数70名)は10月24日(水)から25日(木)に一泊二日の日程で、秋の保養を会員14名の参加で紋別・佐呂間・網走方面を行った。

一日目は、紋別マルカイチ水産で海鮮炉端焼きの昼食を堪能、その後オホーツクタワーで360度のパノラマ風景を展望し、宿泊先のサロマ湖鶴邪リゾートにて宴会を開き、和気あいあいとした雰囲気の中、カラオケ等で盛り上がった。

二日目は、博物館網走監獄でガイドツアーによる説明を受けながら歴史や貴重な文化財を見学した。

一泊二日の日程で会員相互の親睦を図り、有意義な時間を過ごし無事帰路に着いた。



理事会だより

第11回 理事会

平成30年10月29日(月)

協議事項

- 1 平成30年度9月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 2 大口貸付について
- 3 理事に対する貸付について
- 4 規程類の一部変更について

報告事項

- 1 内部監査の実施報告について
- 2 規程類の一部変更について
- 3 TAC活動状況報告・主要農産物の状況及び地区営農状況について
- 4 平成30年産米の出荷状況について
- 5 営業時間の変更について
- 6 農家経営対策組合員の平成30年度第3四半期実績について
- 7 融資要項の一部改正について
- 8 貸出金利表の改定について
- 9 信用事業取扱事務手続きの制定及び改正について
- 10 JA北海道大会について
- 11 組合員の加入及び脱退の状況について
- 12 人事異動について
- 13 その他

第12回 理事会

平成30年11月29日(木)

協議事項

- 1 平成30年度10月末に於ける事業実績(子会社含む)及び仮決算(子会社含む)の状況について
- 2 組合員懇談会の開催について
- 3 金融支所の店舗統合について
- 4 年末手当の支給について
- 5 出資金の減口について
- 6 JAネットバンク月額手数料の変更について

報告事項

- 1 平成30年度第3・四半期監査の実施報告について
- 2 全国農業協同組合中央会期中監査Ⅱの結果について
- 3 内部監査の実施報告について
- 4 事業収支シミュレーションについて
- 5 経営安定対策等各種助成金について
- 6 平成30年度大雨被害助成事業及び北海道胆振東部地震被害助成事業について
- 7 融資要項の制定について
- 8 融資要項の一部改定について
- 9 貸出金利表の改定について
- 10 反社会的勢力排除対応管理先にかかる対応状況報告について
- 11 疑わしい取引の届出にかかる第3四半期定期報告について
- 12 平成30年度第4四半期余裕金運用計画額および運用方針について
- 13 フィールド&フォーラム型年金推進実践プログラムの結果について
- 14 規程類の一部変更について
- 15 職制規程別表 職務権限表について
- 16 子法人等9月末事業実績について
- 17 事務リスク管理規程にかかる第3四半期のコンプライアンス事故報告概要について
- 18 組合員の加入及び脱退の状況について
- 19 年末年始の営業時間について
- 20 その他

監事会・監事監査の報告

監事会

- | | | |
|------|-----|---------------|
| 第14回 | 監事会 | 平成30年10月29日開催 |
| 第15回 | 監事会 | 平成30年11月19日開催 |
| 第16回 | 監事会 | 平成30年11月28日開催 |

監事監査

1. 無通告監査
平成30年10月に3金融支所、2給油所、1事業所を実施
平成30年11月に金融部、1資材センターを実施
2. 随時監査
平成30年10月に10金融支所、管理部、金融部、2給油所、1支所、2資材センター、1事業支所、購買燃料課を実施
3. 第3・四半期監査
平成30年11月20日から11月28日までの間で6日間実施

※監事監査は、内部監査室の協力により実施しました。
無通告監査は、内部監査室と合同で実施しました。

JAあさひかわ
(平成30年11月末実績)

概要

組合員数	正組合員	1,942 名
	准組合員	20,341 名
	合 計	22,283 名
出 資 金 残 高	2,116	百万円
販 売 取 扱 高	4,155	百万円
生産資材供給高	1,296	百万円
給 油 所 供 給 高	1,379	百万円
生 活 供 給 高	66	百万円
貯 金 残 高	100,558	百万円
融 資 残 高	17,536	百万円
長期共済保有高	1,812	億 円

お悔やみ 葬んで故へのご冥福をお祈り申し上げます	10/11	坂上 光勇 さん	神居地区雨紛1農事組合
	10/22	伊林 英子 さん	神居地区上雨紛農事組合
	11/7	今井 英夫 さん	北野地区8区農事組合
	11/21	杉山 武 さん	旭川中央その他(旭川) 農事組合
	11/23	柴田 保彦 さん	永山地区8区3組農事組合
	11/24	樋口 武 さん	永山地区9区農事組合
	11/30	岩村 文子 さん	旭川中央その他(旭川) 農事組合

退職	日付	資格名	氏 名	所 属
	12/1	推進役	深瀬 久視	北野資材センター資材店長

とくす

JAあさひかわの
気になるニュース

topics

いつでもどこでも
くまなく情報満載。

北海道教育大学旭川校 稲作体験塾 ～そばうち・しめ縄づくり編～

JAグループ北海道と北海道教育大学旭川校の主催による「稲作体験塾～そばうち・しめ縄づくり～」が12月8日(土)に江丹別若者の郷で開催され、学生30名、教師2名が参加した。

古澤専務より「本年は6月の低温日照不足、7月の豪雨災害など天候不順が続き各作物の収量や品質低下を招き、農業者にとっては大変厳しい年となりました。学生の皆さんには農業の厳しさや魅力、食の大切さを感じていただきたいと思います。本日は新そば粉の豊かな風味を楽しんで下さい」と挨拶をいただいた。

そば打ち講師小野寺勝三氏よりそば打ちについて指導を受け、慣れない作業に戸惑いながらも手打ちそばを完成させ、自らが打ったそばを試食した。学生達は、太さやこしが様々なそばと講師が打ったそばを比較しながら試食し美味しく味わった。

その後、しめ縄体験を開催し講師には神居地区浅野和



JAあさひかわコンプライアンス研修会を開催

11月9日(金)と12日(金)の2日間において全職員を対象としたコンプライアンス研修会が開催された。
北海道農業協同組合中央会旭川支所次長の宮本正樹氏

子氏にお越しいただき、わらの特徴や製作のコツを指導いただき、しめ縄づくりを開始した。学生達は初めてのしめ縄体験であったが3人1組で協力し合い個性溢れるしめ縄を完成させ、しめ縄を手に集合写真を撮り体験塾は終了した。



を講師に招き「コンプライアンス違反事例から学ぶ適切な対策と対処法」と題して講演を行っていただいた。参加者は皆、真剣に聞き入っていた。

JAあさひかわメンタルヘルス研修会を開催

12月10日(月)、11日(火)、メンタルヘルス研修会が開催された。北海道農業団体健康保険組合の保健師である、秋田 朋香氏を講師に迎え、こころの健康について学んだ。

「心の健康を保つための10ヶ条」等を説明していただき、メンタルヘルスに対する理解を深めた。